



国土建整第43号  
平成23年9月21日

(社)日本建設業連合会会長 殿

国土交通省土地・建設産業局  
建設市場整備課



### 建設資材・労働力需要実態調査の実施について（協力依頼）

平素は、国土交通行政の推進に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、国土交通省におきましては、建設資材・労働力需要実態調査を下記により実施することといたしました。

つきましては、調査の実施に際して、貴団体会員企業（事業所）の皆様への調査協力に関する周知等、格段のご協力を賜りたくお願い申し上げます。

#### 記

#### 1. 調査名

建設資材・労働力需要実態調査（統計法に基づく一般統計調査）

#### 2. 調査の目的

本調査は、平成22年度内に着工された土木工事（電気設備工事、機械設備工事等を含む）の施工金額、使用資材量、労働者数等を集計し、請負金額あたりの資材量、就業者数（金額原単位）を算出することにより、主要建設資材の需要予測や建設労働需給調査等に活用し、建設資材及び労働力の需給の安定化対策の推進を図ることを目的とする。

#### 3. 調査の概要

平成22年度（H22.4.1～H23.3.31）に着工された請負契約額500万円以上の土木工事の中から、約5,000工事を抽出し、抽出した工事の請負者に「建設資材・労働力需要実態調査票」を郵送し、工事の請負契約額、工事に要した資材量、労働力等を記入いただいた後、回収し、集計することにより、原単位を算出する。

#### 4. 調査時期

調査票の配布 : 平成23年10月中旬

調査票の回収期限 : 平成23年11月25日（金）

※なお、調査結果については、平成24年6月頃公表する予定です。

#### 5. 調査担当部局

（担当部局） 国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課 資材係 田崎

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

電話 03-5253-8111（代）（内線：24864）

（調査委託先）株式会社アダムコミュニケーション 担当：小俣、兵働

〒182-0002 東京都調布市仙川町1-15-47

電話 03-3305-5500（代）

## 平成23年度建設資材・労働力需要実態調査 ご協力をお願い

平成23年10月  
国土交通省土地・建設産業局  
建設市場整備課

平素は、国土交通行政の推進に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、国土交通省において、平成22年度内に着工された土木工事（電気設備工事、機械設備工事等を含む）を対象に、使用資材量、労働者数等を把握し、請負金額あたりの使用資材量、就業者数（金額原単位）を算出することを目的とした「建設資材・労働力需要実態調査」を実施することになり、平成22年度に着工された土木工事から無作為に選定した結果、調査票に記載された工事が本調査の対象工事を選定されました。

つきましては、ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、上記の趣旨をご理解のうえ、本調査に対し、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 1. 調査実施機関（担当部局）

国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課 資材係 田崎  
〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3  
電話 03-5253-8111（代）（内線：24864）

### 2. 調査委託先（調査に関するお問い合わせ先）

株式会社アダムコミュニケーション 担当：小俣、兵働  
〒182-0002 東京都調布市仙川町1-15-47  
電話 03-3305-5500（代） FAX 03-3307-7210  
E-mail: miltsurvey@aaa.co.jp

### 3. 調査票の返送先及び提出期限

#### 【郵送にて提出する場合】

同封の返信用封筒にて、平成23年11月25日（金）までに  
国土交通省土地・建設産業局 建設市場整備課 資材係までご返信ください。

#### 【電子メールにて提出する場合】

平成23年11月25日（金）までに、下記メールアドレスへご提出ください。  
E-mail: miltsurvey@aaa.co.jp

### 4. 記入要領等

- ・「平成23年度建設資材・労働力需要実態調査票」に従ってご記入ください。
- ・電子媒体（エクセル）でのご記入を希望される方は、下記のアドレスからダウンロードしてご使用ください。

#### ◆調査票ダウンロード先（国土交通省ホームページ）

⇒ [http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1\\_6\\_bt\\_000216.html](http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1_6_bt_000216.html)  
平成23年度建設資材労働力需要実態調査（調査票ダウンロード）を  
クリックしてください。

※国土交通省ホームページのトップページから入る場合は、

- ⇒ 国土交通省トップページ (<http://www.mlit.go.jp/>)
- >> 土地・建設産業（画面上側「国土交通省の政策クイックリンク」の項目）
  - >> 建設産業・不動産業関係（画面右側「基本情報」の項目）
  - >> 労働・資材対策（画面左側2段目の「建設市場整備」の項目）
  - >> 平成23年度建設資材労働力需要実態調査（調査票ダウンロード）

秘

## 建設資材・労働力需要実態調査票 【土木・その他部門】

※調査対象工事が未着工の場合は、表紙余白に「未着工」と朱書きの上、ご返送下さい。

### 1. 調査趣旨

この調査は、建設事業の円滑な実施を図るため、主要な建設資材及び労働力の工事費の1単位当たりに必要な資材量・労働力を把握することにより、建設事業に必要な資材量及び労働力の短期・長期の需要見通しと、これに基づく資材及び労働力の需給の安定化対策を推進するための基礎資料を得ることを目的として実施するものです。

### 2. 調査実施

この調査は、国土交通省が実施するものであり、株式会社アダムスコミュニケーションに調査を委託しております。

この調査票に記入された内容は、上記の目的以外に使用することは決してありません。

なお、調査対象の抽出は工事単位で行うため、**1事業所に2通以上の調査票が送られることがあります。**その際は、ご面倒でもそれぞれの調査票に記入して下さい。

### 3. 調査内容

- I. 工事内容調査 … 調査対象工事の請負契約金額、工期等
- II. 主要資材量調査 … 調査対象工事に使用した資材量
- III. 労働力調査 … 調査対象工事に従事した労働者の延べ人数

### 4. 調査対象工事

この調査票のタイトルは【土木・その他部門】となっていますが、公共工事の場合、「建築」以外のすべての公共工事を対象としていますので、電気設備工事、機械設備工事等も対象となります。

### 5. 調査票の提出期限・提出先・問い合わせ先・写しの保管

(1) 記入済みの調査票は、同封の返信用封筒にて**平成23年11月26日(金)まで**にご投函下さい。  
 なお、提出先(返信用封筒に印刷してあります)は、下記のとおりです。  
 〒100-8786 東京都千代田区霞が関2-1-3  
 国土交通省土地・建設産業局 建設市場整備課 資材係

(2) 調査についての問い合わせ先は、この調査票の6ページにありますので、ご参照下さい。

(3) **電子媒体(エクセル)での記入を希望される方は、6ページに記載されたURLから調査票をダウンロードしてご使用下さい。**

(4) 後日、調査票の記入内容について問い合わせをさせていただく場合がありますので、**記入済みの調査票の写しを保管しておいて下さい。**

### 6. 調査票記入者名

この調査票を記入された方の所属、氏名等を記入して下さい。

事業所名					
事業所所在地					
所属部課名	部	氏名		電話	市外局番 (      )
	課				
メールアドレス					

※調査対象工事に該当する事業所名・事業所所在地と相違がございましたら、下記にご記入願います。

訂正例) 事業所名: ○○建設(株) → ▲▲建設 ■■工事業業所 (ここでの記載は対象工事に対する事業所名を記載願います。)

事業所名					
事業所在地	(〒      -      )				

# I. 工事内容調査

今回、調査対象とさせていただく工事は、平成22年度に貴事業所が国土交通省へ提出した「建設工事受注動態統計調査票(甲)」から抽出した次の工事です。

工事件名					
発注者		受注動態統計調査票提出月		請負契約額	百万円

※請負契約額が設計変更等による増額分のみ該当している場合もありますが、本調査では当初契約も含めて調査対象としております。

上記の工事に関して、右欄に正しい工事内容を記入して下さい。(左欄は、上記調査票より確認した内容を記載しております。)

工事内容		正しい工事内容				
施工場所		都道府県名				
契約年月	この工事の発注者との最初の契約年月を記入してください	平成		年		月
実際の工事着工年月(現場作業開始年月)		平成		年		月
実際の完成または工事完成予定年月		平成		年		月

1. 最終工事請負契約金額(消費税相当額を含む) <設計変更等による増減額を含む>	⇒	<table border="1"> <tr> <th>百億</th> <th>十億</th> <th>一億</th> <th>千万</th> <th>百万</th> <th>十万</th> <th>万円</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※万円未満は四捨五入で記入して下さい。</p>	百億	十億	一億	千万	百万	十万	万円							
百億	十億	一億	千万	百万	十万	万円										
2. 発注者からの無償支給材評価額(消費税相当額を含む) <支給当時の時価で換算する>	⇒	<table border="1"> <tr> <th>百億</th> <th>一億</th> <th>一億</th> <th>千万</th> <th>百万</th> <th>十万</th> <th>万円</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※万円未満は四捨五入で記入して下さい。 ※無償支給材料評価額は、発注者から無償で支給された資材について、支給当時の時価で換算した額を記入して下さい。換算は、製品カタログ、建設物価等を参照して下さい。</p>	百億	一億	一億	千万	百万	十万	万円							
百億	一億	一億	千万	百万	十万	万円										

## ◎【資材関連(3ページ、4ページ)】 記入に当たっての注意点

- 調査票の各内容欄に該当する資材の数量(協力工事業者(下請)が要したのもの等も含む)を記入して下さい。該当のない欄には、0(ゼロ)を記入して下さい。
- 対象工事が竣工していない場合でも、完成までの見込み分(予定使用数量)を含めて記入して下さい。
- 請負契約額の欄に、設計変更等による増額分のみが印刷されている場合がありますが、記入いただいた最終工事請負契約金額に相当する、工事全体の資材・労働力需要量を記入して下さい。
- 各資材は必ず指定された単位で記入して下さい。単位の換算が必要な場合は、末尾の材料換算表や、メーカーカタログを参照して下さい。
- 数値については、小数点以下を四捨五入して下さい。
- 発注者から無償で支給された資材がある場合は、貴社で調達した数量と合算した数量を記入して下さい。
- 同一品目で、2種類以上資材を購入した場合は、合算した数量を記入して下さい。
- 使用した資材を、構成成分ごとに分離しないで下さい。  
例)鉄筋コンクリートU型を100tを使用 → 正しい書き方: 道路用等コンクリート製品の使用数量の欄に100と記入。  
誤った書き方: セメント△△、砂利××、...の様に、構成物に分ける。
- 鉄鋼製品には、鋳鉄品、鋳鋼品等は含めないで下さい。
- コード35欄「その他鋼材」は次のような資材を対象としています。  
・配管用鋼管(水道、ガス等の配管用鋼管)  
・その他鋼材(薄板、亜鉛鉄板等で、コード「27」~「33」欄のいずれにも属さないもの。ただし、鉄線、針金、釘、金網、ボルト、ナット、PC鋼線等の線材二次製品や、高欄、メタルラス等の鉄鋼加工製品は対象外です。)

Ⅱ-(1). 主要資材量(セメント、生コンクリート、コンクリート二次製品、骨材等)

対象工事に使用した資材の使用数量を記入して下さい。該当のない資材は0を記入して下さい。

資材	品種	単位	コード	使用数量							内容
				百万	十万	万	千	百	十	一	
セ	メント	t	01								普通ポルトランド、早強ポルトランド、高炉、フライアッシュ、特殊セメント、カラーセメント、白色セメント等。 ただし、生コンクリート、コンクリート二次製品に使用されているものは除く。
生	コンクリート	m <sup>3</sup>	02								各種配合生コンクリート。
コン クリ ート 二 次 製 品	コンクリート管類	t	03								ヒューム管、PC管、鉄筋コンクリート管、無筋コンクリート管、水道用石綿セメント管、ロール転圧鉄筋コンクリート管、ソケット付スパンパイプ、コンクリート製トラブ等。
	コンクリートポール・パイル	t	04								RCポール、PCポール、RCパイル、PCパイル、PHCパイル、特殊パイル等。
	土木コンクリートブロック	t	07								積ブロック、張ブロック、連結ブロック、法枠ブロック。
	インターロッキングブロック	m <sup>2</sup>	10								普通インターロッキングブロック、透水性インターロッキングブロック、植生用インターロッキングブロックで、歩道、コミュニティー道路、駐車場、公園、車道、車両進入道、バス停車帯、工場ヤード、コンテナヤード等に使用されるもの。
	道路用等コンクリート製品	t	12								舗装用コンクリート平板、鉄筋コンクリートU型及び蓋、遠心力鉄筋コンクリートU型及び蓋、コンクリートL型、鉄筋コンクリートL型、遠心力鉄筋コンクリートL型、コンクリート境界ブロック、遠心力鉄筋コンクリート境界ブロック、並木ますブロック、下水道用マンホール、雨水・集水・汚水ます及び蓋、組合わせ踏きよブロック、その他の各種街きよ用材等。
	その他のコンクリート二次製品	t	13								鉄筋コンクリートフリューム、鉄筋コンクリートベンチフリューム、スラブ橋用プレストレストコンクリート橋げた、けた橋用プレストレストコンクリート橋げた、コンクリート系セグメント、コンクリート枕木、スラブ軌道、消波根固めブロック、テトラポット、ボックスカルバート、ケーソンセルラーブロック、各種擁壁ブロック等。
骨 材	砂	m <sup>3</sup>	14								現場練りコンクリート用、モルタル用、盛土用、埋戻し用を使用する砂。 ただし、生コンクリート、コンクリート二次製品、アスファルト合材に使用されているもの、品質の劣る山砂、浜砂、シラス等は除く。なお、コンクリート塊若しくはアスファルト・コンクリート塊から製造した再生材は、コード「19」欄の「再生砂」へ記入する。
	砂	利 m <sup>3</sup>	15								現場練りコンクリート用、盛土用、埋戻し用を使用する砂利。 ただし、生コンクリート、コンクリート二次製品、アスファルト合材に使用されているものは除く。なお砂利等を破碎して碎石としたものはコード「16」欄の「碎石」へ記入する。
	砕	石 m <sup>3</sup>	16								現場練りコンクリート用、盛土用、埋戻し用を使用する碎石で、コンクリート碎石、単粒度碎石、クワッシャーラン、粒度調整碎石、(割)ぐり石、切込碎石、スクリーニングス、ダスト、砂利碎石等。ただし、生コンクリート、コンクリート二次製品、アスファルト合材に使用されているものは除く。なお、コンクリート塊若しくはアスファルト・コンクリート塊から製造した再生材は、コード「20」欄の「再生碎石」へ記入する。
再 生 骨 材	再 生 砂	m <sup>3</sup>	19								コンクリート塊若しくはアスファルト・コンクリート塊から製造した砂で、現場練りコンクリート用、モルタル用、盛土用、埋戻し用等を使用する砂。 ただし、生コンクリート、コンクリート二次製品、アスファルト合材に使用されているものは除く。新材は、コード「14」欄の「砂」へ記入する。
	再 生 砕 石	m <sup>3</sup>	20								コンクリート塊もしくはアスファルト・コンクリート塊から製造した碎石で、路盤材等を使用する再生クワッシャーラン、再生粒度調整碎石等。 ただし、生コンクリート、コンクリート二次製品、アスファルト合材に使用されているものは除く。新材は、コード「16」欄の「碎石」へ記入する。
石	材	m <sup>3</sup>	17								角石、板石、間知石、割石、雜割石等。

II-(2). 主要資材量(鉄鋼製品、瀝青材等)

対象工事に使用した資材の使用数量を記入して下さい。該当のない資材は0を記入して下さい。

資材	形態	品種	単位	コード	使用数量						内容	
					百万	十万	万	千	百	十		一
鉄鋼製品 (※1)	普通鋼材	H形鋼	t	27								ロールH形鋼、広幅、中幅、細幅等各種圧延H形鋼(溶接によりビルトアップしたH形鋼はコード「31」欄へ記入)。
		その他の形鋼(除くH形鋼)	t	28								H形鋼を除く他の形鋼(冷間成形による軽量形鋼を含む)。
		鋼矢板	t	29								鋼矢板、軽量鋼矢板等で埋設したもの(引き抜き撤去分は仮設材扱いとし、コード「37」欄へ記入)。
		棒鋼	t	30								異形棒鋼、丸鋼、平鋼等。
		厚中板	t	31								厚み3mm以上の鋼板(ビルトアップH形鋼、溶接四面ボックス等を含む)。
		鋼管杭・鋼管矢板	t	32								鋼管杭、鋼管矢板等。
		構造用鋼管(含むコラム)	t	33								一般構造用円形、角型鋼管等。
	その他の鋼材	t	35								(※2)を参照して下さい。	
	仮設鋼材	H形鋼	t	36								・償却費、損料計上のもの(リースによるものを含む)で引き抜き撤去されたもの。 ・仮設材には仮事務所、仮宿舍、資材置場等の間接的なものは含めません。
		鋼矢板	t	37								・新規購入、他の工事からの転用、リースの区分を問わず、調査対象工事に投入した数量を記入して下さい。
その他		t	38								・仮設材で転用したものと及び転用後に全損になったものは含みますが、捨て型枠、埋設等で転用されずに当初から全損となるものは、本設材として各品目欄に記入して下さい。	
	特殊鋼鋼材	t	39								ステンレス鋼、高抗張力鋼、耐候性鋼、低温用鋼等。	
	瀝青材	t	41								ストレートアスファルト、ブローンアスファルト、コンパウンド等。ただし、アスファルト合材に使用されているものは除く。	
	アスファルト合材(再生除く)	t	42								道路用アスファルトコンクリート等。再生物は、コード「43」欄へ記入する。	
	再生アスファルト合材	t	43								再生道路用アスファルトコンクリート等。新品物はコード「42」欄へ記入する。	

(※1)鉄鋼製品には、铸铁品、鋳鋼品等は含めないで下さい。

(※2)その他鋼材は以下のような資材を対象としています。これらの使用数量を記入して下さい。

品種	内容
配管用鋼管	水道、ガス等の配管用鋼管
その他鋼材	薄板、亜鉛鉄板等で、コード「27」～「33」欄のいずれにも属さないもの。 ただし、鉄線、針金、釘、金網、ボルト、ナット、PC鋼線等の線材二次製品や、高欄、メタルラス等の鉄鋼加工製品は対象外です。

### Ⅲ. 労働力

#### ◎【労働力関連(5ページ)】 記入に当たっての注意点

1. 各職種の内容欄に該当する従事者の延べ人数(協力工事業者(下請)が要したのものも含む)を記入して下さい。該当のない欄には、0(ゼロ)を記入して下さい。
2. 事務等社員(管理部門の従事者)、炊事婦、警備員(ガードマン)、工場労働者、資材搬入業者の運転手等は含みません。
3. 延べ人数は、1日8時間を標準とする1人日に換算して記入して下さい。
4. 対象工事が竣工していない場合でも、完成までの見込み分(予定延べ人数)を含めて記入して下さい。
5. 職長(労働者を直接監督し、自ら作業に従事するもの)及び各種見習(一般にいう手元、助手等で技能の修得を目的として、その補助的作業に従事するもの)及び単に各種技能職種の補助的作業に従事するものもそれぞれの職種に含めて下さい。

対象工事に従事した労働者の延べ人数を記入して下さい。該当のない職種は0を記入して下さい。

職 種	コ ド	延 べ 人 数							内 容
		百 万	十 万	万	千	百	十	一	
土 木 一 般 世 話 役	50								土木工事及び重機械の運転または操作について相当程度の技術を有し、もっぱら指導的な業務を行うもの(潜函世話役、トンネル世話役、橋梁世話役を除く)。
特 殊 作 業 員	51								相当程度の技能及び高度の肉体的条件を有し、主として次の作業について主体的に業務を行うもの。(a)軽機械の運転、操作、(b)人力による合材の敷き均し及び舗装面の仕上げ、(c)ダム工事における機械設備等を運転、操作して行う骨材の製造、貯蔵または運搬等、(d)その他、相当程度の技能を有し、各種作業について必要とされる主体的業務を行うもの。
普 通 作 業 員	52								主として人力による土砂等の掘削、積込み、敷均し、資材等の積込み、運搬、片付け、芝はり等の作業を行うもの。
軽 作 業 員	53								主として人力による軽易な清掃、後片付け、草むしり、散水、現場内の小運搬等の作業や入力による軽易な補助作業を行うもの。
鉄 筋 工	54								鉄筋の加工組立について相当程度の技能を有し、鉄筋コンクリート工事における鉄筋の切断、屈曲、成型、組立、結束等について主体的業務を行うもの。
型 枠 工	55								木工事について相当程度の技能を有し、主として木製型枠(メタルフォームを含む)の製作、組立、取り付け、解体、木坑、木橋等の仕ごしらえ等の作業について主体的業務を行うもの。
大 工	56								大工工事について相当程度の技能を有し、家屋等の建築、屋内における造作等の作業について主体的業務を行うもの。
と び 工	57								高所・中空における作業について相当程度の技能及び高度の肉体的条件を有し、杭打ち、足場の組立、解体、重量物の捲上げ、据え付け、鉄骨材の建方、巻き上げ等の作業について主体的業務を行うもの。
左 官	58								左官工事について、相当程度の技能を有し、土、モルタル、プaster、漆喰、人造石の壁材料を用いて壁塗り、吹き付け等の作業について主体的業務を行うもの。
運 転 手 ( 特 殊 )	59								重機械の運転及び操作について相当程度の技能を有し、主として重機械を運転または操作して行う掘削、排除、運搬等の作業について主体的業務を行うもの。
運 転 手 ( 一 般 )	60								大型免許、普通免許等を有し、主として貨物自動車や機械等を運転または操作して行う作業について主体的業務を行うもの。
そ の 他 の 職 種	61								以上の職種に該当しないもの。(例)造園工、法面工、石工、ブロック工、電工、鉄骨工、塗装工、溶接工、潜函工、削岩工、トンネル作業員、橋梁特殊工、普通船員、潜水士、山林砂防工、軌道工、配管工、はつり工、防水工、板金工、タイル工、ダクト工、設備機械工等

ご協力ありがとうございました。  
同封の返信用封筒にて11月25日(金)までにご投函下さい。

## ※調査票の記入に関するお問い合わせ先

株式会社アダムスコミュニケーション 担当:小俣(オバタ)、兵働(ヒョウドウ)

〒182-0002 東京都調布市仙川町1-15-47

TEL 03(3305)5500(代表) FAX 03(3307)7210

E-mail:miltsurvey@aaa.co.jp

## ※調査の趣旨、目的に関するお問い合わせ先及び調査票提出先

国土交通省土地・建設産業局 建設市場整備課 資材係

〒100-8786 東京都千代田区霞が関2-1-3

TEL 03(5253)8111(代表) FAX 03(5253)1555

## ※調査票ダウンロード先(国土交通省ホームページ)

電子媒体(エクセル)でのご記入を希望される方は、下記のURLから調査票をダウンロードして電子メールにて提出して下さい。

調査票ダウンロード先(国土交通省ホームページ)

⇒ [http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1\\_6\\_bt\\_000216.html](http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1_6_bt_000216.html)

平成23年度建設資材労働力需要実態調査(調査票ダウンロード)をクリックしてください。

※国土交通省ホームページのトップページから入る場合は、

国土交通省トップページ(<http://www.mlit.go.jp/>)

>> 土地・建設産業(画面上側「国土交通省の政策クイックリンク」の項目)

>> 建設産業・不動産関係(画面右側「基本情報」の項目)

>> 労働・資材対策(画面左側2段目の「建設市場整備」の項目)

>> 平成23年度建設資材労働力需要実態調査(調査票ダウンロード)

■ 調査票(電子媒体)の提出先: [miltsurvey@aaa.co.jp](mailto:miltsurvey@aaa.co.jp)



# 材料換算表(参考) ①

## 【コード03 コンクリート管類】

### トラフ(直線用)

型式	長さ (mm)	×	幅 (mm)	×	高さ (mm)	質量 (kg/組)
70	1,000	×	70	×	75	26
70	500		70		75	13
120	"		120		75	21
150 A	"		150		90	29
150 B	"		150		120	30
200 A	"		200		90	38
200 B	"		200		170	44
200 C	"		200		250	52
250	"		250		170	56
300	"		300		170	64
300 C	"		300		250	73
330	"		330		210	84
400	"		400		215	95
430	"		430		170	96
430 C	"		430		250	105

### PC管

内圧管 S形			
呼び径 (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg/本)
500	×	4,000	1,230
600		"	1,540
700		"	1,880
800		"	2,340
900		"	2,900
1,000		"	3,480
1,100		"	4,090
1,200		"	4,800
1,350		"	5,840
1,500		"	7,080
1,650		"	8,370
1,800		"	9,800
2,000		"	11,960
2,100	×	3,600	10,990
2,200		"	11,470
2,300		"	11,950
2,400		"	12,430

### ヒューム管 外圧管

品種: B形					
呼び径 (mm)	×	厚さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg/本)
150	×	26	×	2,000	77
200		27		"	103
250		28		"	131
300		30		"	165
350		32		"	204
400		35		2,430	306
450		38		"	373
500		42		"	459
600		50		"	660
700		58		"	899
800		66		"	1,170
900		75		"	1,520
1,000		82		"	1,850
1,100		88		"	2,190
1,200		95		"	2,600
1,350		103		"	3,190

外圧管 C形			
呼び径 (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg/本)
900	×	2,360	1,810
1,000		"	2,150
1,100		"	2,480
1,200		"	2,870
1,350		"	3,430
1,500		"	4,060
1,650		"	4,720
1,800		"	5,370
2,000		"	6,690
2,200		"	8,000
2,400		"	9,430
2,600		"	10,970
2,800		"	12,670
3,000		"	14,370

品種: C形					
呼び径 (mm)	×	厚さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg/本)
1,500	×	112	×	2,360	3,270
1,650		120		"	3,850
1,800		127		"	4,430
2,000		145		"	5,640
2,200		160		"	6,840
2,400		175		"	8,170
2,600		190		"	9,610
2,800		205		"	11,200
3,000		220		"	12,800

※ 他の資材で換算が必要な場合は、「製品カタログ」「価格表」「建設物価」等を参考にして下さい。

## 材料換算表(参考) ②

### 【コード04 コンクリートポール・パイプ】

#### PHCパイプA種・B種

外径 (mm)	×	厚さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg/本)
300	×	60	×	7	820
"		"		8	940
"		"		9	1,060
"		"		10	1,180
"		"		11	1,290
"		"		12	1,410
"		"		13	1,530
350	×	60	×	7	990
"		"		8	1,140
"		"		9	1,280
"		"		10	1,420
"		"		11	1,560
"		"		12	1,700
"		"		13	1,850
"		"		14	1,990
"		"		15	2,130
400	×	65	×	7	1,240
"		"		8	1,420
"		"		9	1,600
"		"		10	1,780
"		"		11	1,950
"		"		12	2,130
"		"		13	2,310
"		"		14	2,490
"		"		15	2,670
450	×	70	×	7	1,520
"		"		8	1,740
"		"		9	1,950
"		"		10	2,170
"		"		11	2,390
"		"		12	2,610
"		"		13	2,830
"		"		14	3,040
"		"		15	3,260
500	×	80	×	7	1,920
"		"		8	2,190
"		"		9	2,470
"		"		10	2,740
"		"		11	3,020
"		"		12	3,290
"		"		13	3,570
"		"		14	3,840
"		"		15	4,110
600	×	90	×	7	2,620
"		"		8	3,000
"		"		9	3,370
"		"		10	3,750
"		"		11	4,120
"		"		12	4,500
"		"		13	4,870
"		"		14	5,250
"		"		15	5,620

#### コンクリートポール

(電力会社配電線路 NTT共架用)				
長さ (m)	×	末口径 (cm)	設計荷重 (kN)	参考質量 (kg)
6	×	12	1.2	195
10	×	19	3.5	670
11		"	"	760
12		"	"	860
12		"	5.0	950
13		"	"	1,050
14		"	"	1,160
15		"	"	1,280
16		"	"	1,400
13		"	7.0	1,250
14		"	"	1,350
15		"	"	1,490
16		"	"	1,630
17		"	"	1,780
14		"	10.0	1,590
15		"	"	1,750
16		"	"	1,930
14	×	22	"	1,550
15		"	"	1,700
16		"	"	1,860
17		"	"	2,010
14		"	15.0	1,950
15		"	"	2,140
16		"	"	2,360
17		"	"	2,570

#### (引き込み用小柱)

長さ (m)	×	末口径 (cm)	設計荷重 (kN)	参考質量 (kg)
6.9	×	10	0.8	180

### 【コード07 土木コンクリートブロック】

#### コンクリート積みブロック

高さ (mm)	×	幅 (mm)	×	控長 (mm)	参考質量 (kg)	使用量 (個/m <sup>2</sup> )
250	×	400	×	350	35.0	10.0
250		500		"	43.8	8.0
280		420		"	41.2	8.5
300		360		"	37.7	9.3
"		450		"	47.3	7.4
"		300		"	31.6	11.1
350		350		"	42.9	8.2

※ 他の資材で換算が必要な場合は、「製品カタログ」「価格表」「建設物価」等を参考にして下さい。

# 材料換算表(参考) ③

## 【コード12 道路用等コンクリート製品】 道路用等コンクリート製品

品名:舗装用平板(JIS A 5371附2)						
呼称	規格					
	幅 (mm)	×	高さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg)
300	300	×	300	×	60	13
330	330		330		60	15

品名:鉄筋コンクリートU形(JIS A 5372附3)						
呼称	規格					
	幅 (mm)	×	高さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg)
150	150	×	150	×	600	25
180	180		180		"	34
240	240		240		"	55
300 A	300		240		"	70
300 B	300		300		"	79
300 C	300		360		"	92
360 A	360		300		"	91
360 B	360		360		"	101
450	450		450		"	136
600	600		600		"	212

品名:1種普通蓋(JIS A 5372附3)						
呼称	規格					
	幅 (mm)	×	高さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg)
150	210	×	35	×	600	10
180	250		40		"	14
240	330		45		"	21
300	400		60		"	33
360	460		65		"	41
450	560		70		"	55
600	740		75		"	78

品名:2種普通蓋(JIS A 5372附3)						
呼称	規格					
	幅 (mm)	×	高さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg)
150	210	×	90	×	600	26
180	250		90		"	31
240	330		100		"	45
300	400		100		"	55
360	460		100		"	64
450	560		120		"	93
600	740		150		"	166

品名:鉄筋コンクリートL形(JIS A 5372附5)						
呼称	規格					
	幅 (mm)	×	高さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg)
250 A	350	×	155	×	600	47
250 B	450		"		"	58
300	500		"		"	65
350	550		"		"	72

品名:歩車道境界(JIS A 5371附4)						
呼称	規格					
	幅 (mm)	×	高さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg)
A	150/170	×	200	×	600	45
B	180/205		250		"	68
C	180/210		300		"	83

品名:地先境界(JIS A 5371附4)						
呼称	規格					
	幅 (mm)	×	高さ (mm)	×	長さ (mm)	質量 (kg)
A	120	×	120	×	600	21
B	150		120		"	26
C	150		150		"	32

## 【コード13 その他のコンクリート二次製品】

### PC橋桁

ス77橋桁(A活荷重) JIS A 5373附2			
呼称	規格		
	桁高 (mm)	桁長 (m)	参考質量 (t/本)
AS-05	350	5.3	2.9
AS-06	350	6.3	3.5
AS-07	400	7.3	4.6
AS-08	400	8.4	5.3
AS-09	450	9.4	6.7
AS-10	450	10.5	7.5
AS-11	450	11.5	8.2
AS-12	450	12.5	7.4
AS-13	500	13.5	8.5
AS-14	500	14.5	9.1
AS-15	550	15.6	10.4
AS-16	600	16.6	11.7
AS-17	650	17.6	13.0
AS-18	700	18.6	14.3
AS-19	750	19.6	16.2
AS-20	750	20.7	17.0
AS-21	800	21.7	18.6
AS-22	850	22.7	21.0
AS-23	900	23.7	23.0
AS-24	950	24.7	24.8

ス77橋桁(B活荷重) JIS A 5373附2			
呼称	規格		
	桁高 (mm)	桁長 (m)	参考質量 (t/本)
BS-05	350	5.3	2.9
BS-06	350	6.3	3.5
BS-07	400	7.3	4.6
BS-08	400	8.4	5.3
BS-09	450	9.4	6.7
BS-10	450	10.5	7.5
BS-11	500	11.5	9.1
BS-12	500	12.5	7.9
BS-13	500	13.5	8.5
BS-14	550	14.5	9.7
BS-15	600	15.6	11.0
BS-16	600	16.6	11.7
BS-17	650	17.6	13.0
BS-18	700	18.6	14.3
BS-19	750	19.6	16.2
BS-20	800	20.7	17.8
BS-21	850	21.7	19.4
BS-22	900	22.7	21.9
BS-23	950	23.7	23.9
BS-24	1,000	24.7	25.7

桁橋桁(A活荷重) JIS A 5373附2			
呼称	規格		
	桁高 (mm)	桁長 (m)	参考質量 (t/本)
AG-18	900	18.6	16.5
AG-19	1,000	19.6	18.9
AG-20	1,000	20.7	20.0
AG-21	1,100	21.7	22.5
AG-22	1,100	22.7	23.6
AG-23	1,200	23.7	26.4
AG-24	1,200	24.7	27.5

桁橋桁(B活荷重) JIS A 5373附2			
呼称	規格		
	桁高 (mm)	桁長 (m)	参考質量 (t/本)
BG-18	1,000	18.6	17.9
BG-19	1,000	19.6	18.9
BG-20	1,100	20.7	21.5
BG-21	1,100	21.7	22.5
BG-22	1,200	22.7	25.3
BG-23	1,200	23.7	26.4
BG-24	1,300	24.7	29.4

軽荷重橋(98.1kN) JIS A 5373附3			
呼称	規格		
	桁高 (mm)	桁長 (m)	参考質量 (t/本)
LS-05	225	5.3	2.0
LS-06	225	6.3	2.4
LS-07	225	7.3	2.7
LS-08	250	8.4	3.5
LS-09	275	9.4	4.3
LS-10	300	10.5	5.2
LS-11	350	11.5	6.6
LS-12	375	12.5	7.6
LS-13	400	13.5	8.8

※ 他の資材で換算が必要な場合は、「製品カタログ」「価格表」「建設物価」等を参考にして下さい。

建設資材・労働力需要実態調査（平成 18 年度原単位）の結果について

国土交通省総合政策局建設市場整備課  
 課長補佐 越 智 （内線 24863）  
 資材係長 渡 邊 （内線 24864）  
 電話番号(03)5253-8111（代 表）  
 (03)5253-8283（夜間直通）

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、主要建設資材及び労働力の建設工事における原単位を把握することにより、その需要構造を明らかにし、もって建設資材供給の安定化と建設工事の円滑な推進を図ることを目的として実施しているものである。

本調査では、各種の主要建設資材及び労働力のそれぞれについて、以下の2種類の原単位を年間（以下、年間原単位という）について算出している。

- ・金額原単位：請負工事費（発注者からの支給資材評価額を含む。以下同じ。）100万円あたりの投入量
- ・面積原単位：建築工事において、延べ床面積10㎡あたりの投入量

(2) 調査経緯

原単位は、施工技術の進歩・合理化、新工法の開発、建設資材の品質向上及び二次製品の進展、及びこれらに伴う生産性の向上や、資材価格の変動によって、経年的に変化する。

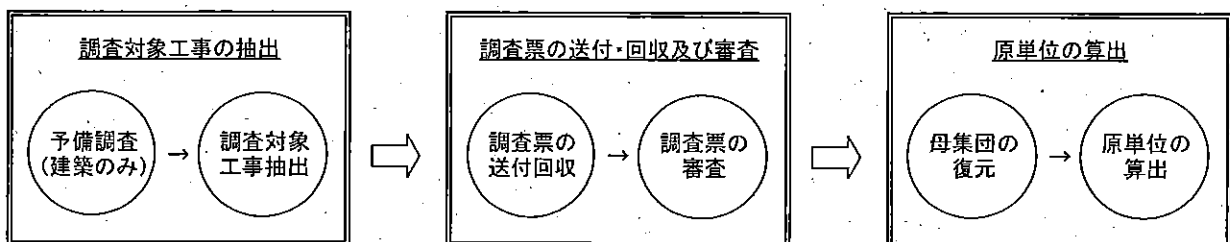
このため、昭和49年度工事を対象に1回目を実施し、以後、おおよそ3年ごとに実態に即した原単位の把握を行っている。

今回の調査は、平成18年度に受注された工事を対象として、平成19年度に実施したものであり、総務省の承認統計として実施した。

(3) 調査の方法

調査の方法については、図-1のとおりである。

図-1 原単位調査の実施手順



### i) 調査対象工事の抽出

調査年度に受注された工事の中から、建築工事、土木工事の別に、工事の施工地、種類及び規模毎にそれぞれの抽出数及び抽出率を定めて調査対象工事の抽出を行う。

#### ①建築工事

予め2,500事業所について予備調査を行い、その調査結果から約4,700件を抽出する。

#### ②土木工事

国土交通省総合政策局情報安全・調査課が実施している受注動態統計（うち土木分）のデータから、約5,000件を抽出する。

### ii) 調査票の送付・回収及び審査

抽出した調査対象工事を請負った各事業所（元請け）に対し、郵送により調査票を送付・回収する。回収した調査票については、記入内容を審査し、審査を通過したものを有効標本とする。

### iii) 原単位の算出

得られた有効標本のデータから、以下の手順により、各主要建設資材及び労働力のそれぞれについて原単位を算出する。

#### ①層原単位の作成

得られた有効標本のデータから、建築工事、土木工事のそれぞれについて、施工地、種類及び規模等の別毎に層原単位を作成する。

#### ②着工統計等による母集団の復元

作成した標本原単位の施工地、種類及び規模等の偏りをなくすため、建築工事については建築着工統計、土木工事については受注動態統計に基づき、金額原単位は請負工事費のシェアにより、面積原単位は延べ床面積シェアにより、それぞれ復元倍率を算出し、それを層原単位に乗じることにより、各統計の母集団に復元する。

#### ③各統計区分に対応した原単位の算出

復元した母集団の原単位を基に、建築工事、土木工事のそれぞれについて、主要建設資材及び労働力の原単位を、以下のとおり作成する。

##### ・建築工事

建設投資推計、建築着工統計の各区分の別に応じ、建築物の用途、用途、構造の区分毎、及びそれらを総合したものについて作成する。

##### ・土木工事

建設投資推計、受注動態統計の各区分の別に応じ、工事種類別、金額規模等それぞれの区分毎、及びそれらを総合したものについて作成する。

表-1 原単位算出の区分一覧表

建設投資推計		区分	
建築工事	①住宅・非住宅別 ②政府・民間別 ③地域別	建築着工面積	①用途別 ②用途別 ③構造別 ④地域別
土木工事	①政府・民間別 ②地域別	受注動態統計	①事業種別 ②公共・民間別 ③金額別 ④地域別

2. 調査結果の概要

(1) 調査対象工事の抽出

平成18年度に着工された工事の中から建築工事4,737件を抽出した。また、同年度に受注された工事の中から土木工事5,000件を抽出した。

(2) 有効標本件数

抽出した調査対象工事のうち、未回収記入漏れ等により無効となった工事を除く有効標本件数は、建築工事3,216件、土木工事3,527件で、全体の着工件数に対するカバー率は、それぞれ0.4%、1.6%となった。

表-2 調査対象工事件数結果一覧表

部門	抽出件数 (A)	回収数		有効標本数		平成18年度 全体着工件数 (D)	カバー率 (C/D)%
		(B)	(B/A)%	(C)	(C/B)%		
建築工事	4,737	3,476	73.4	3,216	92.5	727,882 *1	0.4
土木工事	5,000	4,312	86.2	3,527	81.8	226,326 *2	1.6

※\*1 建築着工統計における着工棟数

\*2 建設工事受注動態統計において、公共では住宅・非住宅以外、民間では建築以外の受注件数

### (3) 原単位算出結果（年間原単位）

建設投資推計区分及び、建築着工統計区分（構造別）に対する原単位の算出結果は、以下のとおりとなった。

#### i) 建設投資推計区分に対応する金額原単位

##### ①セメント

土木が建築を上回っている。これは、政府土木において治山・治水、道路、港湾・空港等、コンクリート構造物の多い工種の原単位が大きいことによる。

##### ②生コンクリート

土木が建築を上回っている。特に政府土木において、治山・治水、道路等、現場での生コンクリート打設を必要とする工種で多く使用されている。また、建築でも、非住宅での原単位が高い。

##### ③骨材・石材

土木が建築を大きく上回っている。これは、特に道路、港湾・空港等の政府土木工事での原単位が大きいことによる。

##### ④木材

木材は、その多くが木造住宅の構造材として使用されているため、住宅建築で特に大きくなっている。

##### ⑤鋼材

建築が土木を上回っている。これは、非住宅建築に鋼構造の建築物が多く、これらの建築物での原単位が大きいことによる。

##### ⑥瀝青材（アスファルト）

土木が建築を大きく上回っている。これは、政府土木において、道路、維持補修等での原単位が大きいことによる。

##### ⑦就業者

建築が土木を上回っている。建築の住宅の原単位が大きいことによる。

表-3 建設投資推計区分に対応する金額原単位（全国）

（請負工事費100万円当たり）

資材・職種名	単位	建築			土木		
		住宅	非住宅	政府	民間		
セメント	t	0.98	0.89	1.12	1.43	1.65	0.75
生コンクリート	m <sup>3</sup>	2.66	2.46	2.98	3.23	3.75	1.61
骨材・石材	m <sup>3</sup>	4.19	3.62	5.14	11.46	12.79	7.30
木材	m <sup>3</sup>	0.52	0.74	0.15	—	—	—
鋼材	t	0.52	0.37	0.77	0.48	0.53	0.34
瀝青材	t	0.02	0.01	0.03	0.12	0.15	0.04
就業者	人・日	11.03	12.09	9.30	9.56	8.88	11.69

（注1）：資材については、加工品等に含まれているものを含む。（例：生コンクリートに含まれるセメント、骨材）

（注2）：就業者の計については、全職種の合計。

ii) 建築着工統計区分（構造別）に対応する面積原単位

①セメント・生コンクリート及び骨材・石材

生コンクリートの使用割合が高い鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄筋コンクリート造で原単位が大きく逆に生コンクリートをほとんど使用しない木造で原単位が小さい。

②木材

木造の原単位が大きく、木材の使用が少ない鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造及び鉄骨造で原単位が小さい。

③鋼材

鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造及び鉄骨造で原単位が大きく、木造で小さい。

④就業者

鉄骨造を除き構造の違いによる差は少ない。鉄骨造は工場の製作を除いていることが影響しているものと考えられる。

表-4 建築着工統計区分（構造別）に対応する面積原単位（全国）

（建築延べ床面積10㎡当たり）

資材・職種名	単位	構造総合	構造別			
			木造 (W)	鉄骨鉄筋 コンクリート造 (SRC)	鉄筋 コンクリート造 (RC)	鉄骨造 (S)
セメント	t	1.61	0.81	2.76	2.87	1.41
生コンクリート	m <sup>3</sup>	4.37	2.05	8.06	8.42	3.48
骨材・石材	m <sup>3</sup>	6.97	3.91	10.45	11.28	6.59
木材	m <sup>3</sup>	0.86	2.20	0.12	0.28	0.07
鋼材	t	0.88	0.14	1.83	1.16	1.29
就業者	人・日	18.31	20.63	19.83	21.27	14.07

(注1): 資材については、加工品等に含まれているものを含む。

(注2): 就業者の計については、全職種の合計。

(注3): 補強コンクリートブロック造(CB)及びその他造(O)のウェイトは少ないため、表から除外している。



### iii) 過去の調査結果との比較

前回（平成15年度）と今回（平成18年度）の調査結果について、原単位を比較した。このうち、建築総合の金額原単位（実質）と面積原単位および土木総合の金額原単位についての結果は以下のとおりである。

#### ①建築総合金額原単位（実質、建設投資推計区分）

金額原単位は、木材、就業者でわずかに減少したものの、セメント、生コンクリート、骨材、鋼材については増加した。

表一5 金額原単位（実質）（建築、全国）

（請負工事費100万円当たり）

資材・職種名	単位	平成15年度	平成18年度
セメント	t	0.92	0.98
生コンクリート	m <sup>3</sup>	2.53	2.66
骨材・石材	m <sup>3</sup>	3.96	4.19
木材	m <sup>3</sup>	0.54	0.52
鋼材	t	0.48	0.52
就業者	人・日	11.13	11.03

（注1）：建設工事費デフレクターの「建築」の値による、平成18年度価格。

（注2）：資材については、加工品等に含まれるものを含む。

（注3）：就業者については、全職種の合計。

#### ②建築総合面積原単位（建築着工統計区分）

面積原単位は、建築物の構造や用途に大きく影響される。今回の調査では、木造に比べ非木造の着工比率が増加したことから、セメント、生コンクリート、骨材・石材及び鋼材で増加し、木材が減少した。

表一6 面積原単位（建築、全国）

（延べ床面積10m<sup>2</sup>当たり）

資材・職種名	単位	平成15年度	平成18年度
セメント	t	1.58	1.61
生コンクリート	m <sup>3</sup>	4.32	4.37
骨材・石材	m <sup>3</sup>	6.88	6.97
木材	m <sup>3</sup>	0.93	0.86
鋼材	t	0.86	0.88
就業者	人・日	19.16	18.31

（注1）：資材については、加工品等に含まれるものを含む。

（注2）：就業者については、全職種の合計。

### ③土木総合金額原単位（建設投資推計区分）

土木の金額原単位は、骨材・石材、就業者で減少したものの、セメント、生コンクリート、鋼材で増加した。また、瀝青材は同水準であった。

表-7 金額原単位（実質）（土木、全国）

（請負工事費100万円当たり）

資材・職種名	単位	平成15年度	平成18年度
セメント	t	1.25	1.43
生コンクリート	m3	2.82	3.23
骨材・石材	m3	12.15	11.46
鋼材	t	0.40	0.48
瀝青材	t	0.12	0.12
就業者	人・日	9.57	9.56

（注1）：建設工事費デフレータの「土木総合」の値による、平成18年度価格。

（注2）：資材については、加工品等に含まれるものを含む。

（注3）：就業者については、全職種の合計。

### 3. その他

当調査結果については、国土交通省のホームページ（統計情報のページ）に掲載していますのでご参照ください。（[http://www.mlit.go.jp/statistics/details/kgyo\\_list.html](http://www.mlit.go.jp/statistics/details/kgyo_list.html)）

## i) 建築(名目、建築着工統計区分)

## ①建築時期別金額原単位表

資材	単位	合計	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目	7ヶ月目	8ヶ月目	9ヶ月目	10ヶ月目	11ヶ月目	12ヶ月目
セメント	t	0.97776	0.11917	0.18238	0.14955	0.14258	0.09054	0.07233	0.04411	0.04268	0.04098	0.01892	0.01830	0.01713
生コンクリート	m <sup>3</sup>	2.66024	0.25285	0.48630	0.43021	0.40596	0.26050	0.21466	0.12572	0.12255	0.11836	0.05071	0.04925	0.04786
骨材	m <sup>3</sup>	4.19452	0.48864	0.82268	0.65124	0.58306	0.46440	0.30445	0.19432	0.17551	0.16337	0.07551	0.06863	0.06323
鋼材	t	0.52240	0.04297	0.11221	0.11427	0.07832	0.04340	0.04404	0.01642	0.01591	0.01563	0.00717	0.00709	0.00695
木材	m <sup>3</sup>	0.51614	0.10840	0.18502	0.10865	0.04405	0.01653	0.01136	0.00875	0.00840	0.00819	0.00311	0.00290	0.00284
就業者	人日	11.03259	0.80595	1.51345	1.71140	1.54927	1.22114	0.87912	0.67468	0.54595	0.45643	0.37001	0.30839	0.25905

資材	単位	13ヶ月目	14ヶ月目	15ヶ月目	16ヶ月目	17ヶ月目	18ヶ月目	19ヶ月目	20ヶ月目	21ヶ月目	22ヶ月目	23ヶ月目	24ヶ月目
セメント	t	0.00734	0.00681	0.00658	0.00365	0.00360	0.00347	0.00169	0.00162	0.00128	0.00122	0.00099	0.00084
生コンクリート	m <sup>3</sup>	0.01884	0.01831	0.01785	0.00763	0.00759	0.00735	0.00344	0.00334	0.00323	0.00311	0.00247	0.00213
骨材	m <sup>3</sup>	0.02878	0.02563	0.02384	0.01349	0.01279	0.01121	0.00492	0.00464	0.00432	0.00411	0.00310	0.00265
鋼材	t	0.00369	0.00368	0.00366	0.00180	0.00180	0.00179	0.00034	0.00029	0.00029	0.00027	0.00025	0.00016
木材	m <sup>3</sup>	0.00099	0.00094	0.00089	0.00102	0.00099	0.00094	0.00038	0.00037	0.00036	0.00036	0.00035	0.00031
就業者	人日	0.16196	0.12270	0.10874	0.07182	0.06100	0.05020	0.03592	0.03384	0.02943	0.02581	0.02144	0.01490

注1: 資材については、加工品等に含まれているものも含む

注2: 就業者については、全職種の合計

## ②建築時期別面積原単位

資材	単位	合計	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目	7ヶ月目	8ヶ月目	9ヶ月目	10ヶ月目	11ヶ月目	12ヶ月目
セメント	t	1.60805	0.20855	0.31780	0.26046	0.22146	0.14735	0.10845	0.06860	0.06636	0.06372	0.03049	0.02949	0.02761
生コンクリート	m <sup>3</sup>	4.36541	0.45012	0.84982	0.74787	0.63170	0.42258	0.31852	0.19341	0.18854	0.18209	0.08158	0.07925	0.07700
骨材	m <sup>3</sup>	6.96766	0.87838	1.44318	1.13820	0.94026	0.71893	0.47231	0.30196	0.27275	0.25389	0.12160	0.11053	0.10184
鋼材	t	0.87930	0.08161	0.20309	0.20145	0.12015	0.06859	0.06059	0.02738	0.02654	0.02607	0.01179	0.01167	0.01143
木材	m <sup>3</sup>	0.85508	0.18059	0.30803	0.18159	0.07671	0.02730	0.01793	0.01334	0.01278	0.01247	0.00467	0.00434	0.00426
就業者	人日	18.30916	1.41723	2.64699	2.99960	2.64256	2.04593	1.46612	1.03425	0.83692	0.69969	0.55426	0.46196	0.38807

資材	単位	13ヶ月目	14ヶ月目	15ヶ月目	16ヶ月目	17ヶ月目	18ヶ月目	19ヶ月目	20ヶ月目	21ヶ月目	22ヶ月目	23ヶ月目	24ヶ月目
セメント	t	0.01162	0.01078	0.01041	0.00582	0.00573	0.00553	0.00173	0.00166	0.00132	0.00125	0.00101	0.00086
生コンクリート	m <sup>3</sup>	0.02985	0.02901	0.02828	0.01269	0.01264	0.01223	0.00353	0.00343	0.00332	0.00320	0.00254	0.00219
骨材	m <sup>3</sup>	0.04596	0.04093	0.03808	0.02322	0.02202	0.01929	0.00504	0.00476	0.00443	0.00421	0.00318	0.00271
鋼材	t	0.00618	0.00617	0.00612	0.00292	0.00292	0.00291	0.00036	0.00030	0.00030	0.00029	0.00027	0.00017
木材	m <sup>3</sup>	0.00151	0.00144	0.00136	0.00163	0.00156	0.00151	0.00037	0.00036	0.00035	0.00035	0.00034	0.00030
就業者	人日	0.26410	0.20007	0.17732	0.12133	0.10305	0.08480	0.03672	0.03459	0.03008	0.02638	0.02192	0.01523

注1: 資材については、加工品等に含まれているものも含む

注2: 就業者については、全職種の合計

ii) 土木 (名目、受注動態統計区分)

①公共時期別原単位

資材	単位	合計	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目	7ヶ月目	8ヶ月目	9ヶ月目	10ヶ月目	11ヶ月目	12ヶ月目
セメント	t	1.66667	0.07896	0.16510	0.20394	0.19995	0.17028	0.13522	0.08797	0.08279	0.07854	0.04695	0.04555	0.04238
生コンクリート	m <sup>3</sup>	3.75240	0.11700	0.32141	0.41060	0.39205	0.36195	0.28516	0.19359	0.17838	0.16634	0.13565	0.13117	0.12158
骨材	m <sup>3</sup>	12.77355	0.85878	1.96765	1.75343	1.68901	1.37878	1.20913	0.62878	0.56676	0.49704	0.30557	0.27551	0.22251
鋼材	t	0.52351	0.03215	0.05761	0.06630	0.06383	0.04727	0.03829	0.02733	0.02692	0.02651	0.01538	0.01496	0.01462
瀝青材	t	0.15093	0.03233	0.03245	0.01426	0.01783	0.01490	0.01089	0.00720	0.00556	0.00392	0.00220	0.00195	0.00152
就業者	人日	8.87186	0.60104	1.21542	1.15803	1.06703	0.88953	0.70731	0.47066	0.40573	0.35909	0.24882	0.22823	0.19977

資材	単位	13ヶ月目	14ヶ月目	15ヶ月目	16ヶ月目	17ヶ月目	18ヶ月目	19ヶ月目	20ヶ月目	21ヶ月目	22ヶ月目	23ヶ月目	24ヶ月目	25ヶ月目以降
セメント	t	0.03425	0.03368	0.03251	0.02316	0.02287	0.02237	0.02097	0.01344	0.01274	0.01171	0.01131	0.01049	0.07953
生コンクリート	m <sup>3</sup>	0.09851	0.09620	0.09494	0.06929	0.06818	0.06623	0.05547	0.03982	0.03687	0.03325	0.03195	0.02959	0.21723
骨材	m <sup>3</sup>	0.14789	0.14346	0.13473	0.10136	0.09947	0.09631	0.09089	0.06362	0.05777	0.05204	0.04769	0.04483	0.34054
鋼材	t	0.01180	0.01158	0.01141	0.00636	0.00632	0.00621	0.00376	0.00345	0.00335	0.00328	0.00321	0.00291	0.01869
瀝青材	t	0.00084	0.00079	0.00072	0.00048	0.00047	0.00045	0.00039	0.00029	0.00020	0.00013	0.00013	0.00012	0.00090
就業者	人日	0.15067	0.14287	0.13750	0.09808	0.09499	0.09095	0.08291	0.05924	0.05310	0.04869	0.04372	0.03878	0.27965

注1: 資材については、加工品等に含まれているものも含む

注2: 就業者については、全職種の合計

②民間時期別原単位

資材	単位	合計	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目	7ヶ月目	8ヶ月目	9ヶ月目	10ヶ月目	11ヶ月目	12ヶ月目
セメント	t	0.40415	0.03305	0.06894	0.07141	0.04263	0.02985	0.02092	0.01712	0.01630	0.01610	0.00807	0.00796	0.00784
生コンクリート	m <sup>3</sup>	0.92237	0.07555	0.14912	0.14575	0.10618	0.07098	0.06417	0.05146	0.04910	0.04847	0.02154	0.02151	0.02103
骨材	m <sup>3</sup>	3.98425	0.63907	0.71727	0.57679	0.47903	0.36462	0.21856	0.18334	0.17581	0.17464	0.06621	0.06496	0.06252
鋼材	t	0.35142	0.10295	0.05950	0.04245	0.03130	0.02599	0.01966	0.01138	0.01136	0.00980	0.00512	0.00510	0.00509
瀝青材	t	0.02305	0.00408	0.00410	0.00216	0.00118	0.00164	0.00112	0.00203	0.00198	0.00198	0.00062	0.00056	0.00052
就業者	人日	9.91459	1.82785	1.71098	1.26195	0.91140	0.75864	0.59146	0.47678	0.39393	0.35762	0.23169	0.21725	0.20724

資材	単位	13ヶ月目	14ヶ月目	15ヶ月目	16ヶ月目	17ヶ月目	18ヶ月目	19ヶ月目	20ヶ月目	21ヶ月目	22ヶ月目	23ヶ月目	24ヶ月目	25ヶ月目以降
セメント	t	0.00411	0.00368	0.00367	0.00283	0.00283	0.00283	0.00197	0.00197	0.00160	0.00160	0.00148	0.00148	0.03395
生コンクリート	m <sup>3</sup>	0.00845	0.00829	0.00829	0.00549	0.00549	0.00549	0.00275	0.00275	0.00274	0.00274	0.00271	0.00271	0.03961
骨材	m <sup>3</sup>	0.02431	0.02399	0.02372	0.01613	0.01608	0.01608	0.00863	0.00863	0.00745	0.00704	0.00657	0.00657	0.09624
鋼材	t	0.00251	0.00205	0.00205	0.00024	0.00024	0.00023	0.00075	0.00075	0.00075	0.00075	0.00072	0.00072	0.00996
瀝青材	t	0.00016	0.00016	0.00016	0.00011	0.00011	0.00011	0.00004	0.00004	0.00003	0.00001	0.00001	0.00001	0.00012
就業者	人日	0.10143	0.08654	0.07618	0.04310	0.04218	0.03468	0.03444	0.03428	0.02163	0.02043	0.01922	0.01922	0.43446

注1: 資材については、加工品等に含まれているものも含む

注2: 就業者については、全職種の合計